

# 2026 北海道ブロック女性会議

～ジェンダー平等の実現に向け、課題と取り組みを共有～

2026年1月17日、連合北海道ブロック女性会議がハイブリッドで開かれ、  
10産別4地区36人が参加しました。



司会の下川まゆみ幹事

会議は、連合北海道女性委員会幹事のUA ゼンセン下川まゆみさんによる開会あいさつで始まり、続いて連合北海道の須間等会長があいさつを行いました。須間会長は、男女間賃金格差や非正規雇用の問題、仕事と家庭の両立をめぐる課題など、女性を取り巻く状況はいまだ厳しいものがある、そのうえで誰もが安心して働き続けられる社会を実現するためには、ジェンダー平等の視点が欠かせず、労働組合の果たす役割は非常に大きい、と参加者への期待を示されました。

次に、連合本部の提起では、はじめに2026春闘方針に基づき、男女平等・ジェンダー平等に関する課題について情報共有が行われました。連合総合政策推進局の畠山薫局長からは、賃上げや労働条件の改善とあわせて、性別による格差の是正や、多様な人材が活躍できる職場づくりを進めていく重要性について説明がありました。

女性の賃金水準や管理職に占める女性割合など、依然として残る構造的な課題が示され、春闘を通じた取り組みの意義が改めて確認されました。

続いて、改正労働施策総合推進法、第6次男女共同参画基本計画、選択的夫婦別姓制度について説明が行われました。連合総合政策推進局ジェンダー平等・多様性推進局の大科奈津子次長、越智陽介部長は、各法改正のポイントや企業に求められる対応、労働組合として取り組むべき課題について解説がありました。ハラスメント防止対策の強化や、女性活躍に関する情報公開の重要性について強調され、職場で実効性ある取り組みにつなげるためには、組合による継続的な関与が不可欠であるとの認識が共有されました。

産別報告では、運輸労連執行委員の大竹美佳さんから、運輸業界における女性労働者の現状や課題について報告がありました。人手不足が深刻化する中、女性が安心して働き続けられる職場環境の整備が重要であり、長時間労働の是正や職場の意識改革に向けた取り組みが紹介されました。

活動報告として、連合東北ブロックの遠藤あや子副事務局長から、ブロック内における女性委員会の取り組みについて報告が行われました。学習会や意見交換の場を通じて女性組合員の声を共有し、運動につなげてきた経験が紹介され、地域や産別を超えた連携の重要性が確認されました。

北海道提起として女性委員会活動報告を菊地貴子事務局長が行いました。女性委員会は本部の方針のもと、働きやすい職場をつくるため学習を進めハイブリッドで様々な集会を行いました。女性参画には会議に参加しやすくなるような取り組みが必要であると報告がありました。

最後に、女性委員会の河原崎委員長から本日のまとめを話して閉会しました。今回の会議では、法制度への理解を深めるとともに、春闘や日常の組合活動の中でジェンダー平等をどのように実践していくかについて、参加者全体で共有することができました。連合北海道女性委員会では、今後も女性の参画を一層促進し、誰もが安心して働き続けられる職場と社会の実現をめざし、取り組みを進めてまいります。



運輸労連 大竹美佳さん

